第4回 TFU 実学臨床研究セミナー 福祉施設利用者の心理と行動

~「てこずり行動」への理解・対応~

資料集

日 時:2021年12月17日(金)18:30~20:00

主 催: TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会

目 次

1.	第4回セミナーの趣旨とプログラム3
2.	講演「福祉施設利用者の心理と行動 ~「てこずり行動」への理解・対応 ~」 渡部純夫氏(東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科 教授)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3.	【資料①】第5回 TFU 実学臨床研究セミナー案内(チラシ)11
4.	【資料②】2021 年度大学院説明会について12
5.	【資料③】TFU 実学臨床研究セミナー実行委員名簿13
	奥 付

第4回セミナーの趣旨とプログラム

【第4回セミナーの趣旨】

福祉施設で利用者さんとかかわりを持つにあたって、なかなかその行動の意味を理解できないことが起こります。この「てこずり行動」を通して表現された心理的意味は、なんなのか、利用者さんのどんな心の真相が隠されているのか、それをどのように見ていけばよいのかなどについて、臨床心理学の視点を中心に考えていきます。

【開催方法】オンライン開催

【プログラム】

18:30 開会挨拶 実行委員長・阿部一彦 (東北福祉大学総合福祉学部 学部長・教授)

18:35 講演者:渡部 純夫氏 (東北福祉大学総合福祉学部 教授)

「福祉施設利用者の心理と行動

~「てこずり行動」への理解・対応 ~」

◎講演者略歴:渡部 純夫(わたなべ すみお)

東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科教授・東北福祉大学大学院総合福祉学研究科教授。東北福祉大学学生支援センター長。臨床心理相談室室長。学生相談室相談員。

福祉心理学科学科長

(主な著書)

『福祉の時代の心理学』(共著) (ぎょうせい)。 『高齢者の「こころ」事典』 (共著) (中央法規出版社)。

『子供の健康』(奥会津書房)。『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』(共著)(八千代出版)。 『心理学理論と心理的支援』(共著)(ミネルヴァ書房)『福祉心理学総説』(共著)(田研出版)『社会貢献 学入門』(共著)(TKK3 大学連携プロジェクト共同テキスト開発委員会)『現代と未来をつなぐ実践的見地 からの心理学』(編著)(八千代出版)『福祉心理学』(編著)(ミネルヴァ書房)他

◎コーディネータ:

加藤 誠氏 (医療法人社団東北福祉会 せんだんの丘 統括部長) 三浦 剛氏 (東北福祉大総合福祉学部 教授)

19:30 指定発言と全体討論

20:00 閉会挨拶

福祉施設利用者の心理と行動

一「てこずり行動」への理解・対応一

東北福祉大学

渡部 純夫

「てこずる」の意味

「てこずる」には、

もてあます・手にあまる・処理に困る等の意味 がある

語源は、江戸時代。重いものを動かす時に活用する「梃子(てこ)」から生まれたもので、梃子がずれてしまったことを意味する

「てこずる」を考える

物事がうまくいかない状況を指すことからなぜうまくいかないのかうまく行かせるためには何が必要かどんな工夫が必要なのかうまくいかないことに何か意味があるのかる

「てこずる」を考える

・相手との関係からみると 相手との間で何が起きているのか どんなメタメッセージが込められているのか 相手が求めている事は何なのか 自分自身はどのように考えているのか

「てこずる」を相手の立場から考える

相手をアセスメントする必要性生物・心理・社会的存在からのアセスメント面接法・観察法・検査法の意味意識・前意識・無意識の意味自我構造の理解精神力動性の見方防衛理論からの見方

「てこずる」を自分の立場から考える

・関わる自分をアセスメントする 自我形成の問題 自己概念と経験の一致度 傾聴・共感・受容能力について カウンセリング・援助技術の能力 理論の理解

「てこずる」を二者関係から考える

- まず、相手のこころの中で起こっている事を 考える
- 自分のこころの中で起こっている事を考える
- 二人の間で起こっている事を考える
- 相互主体性と相互作用性からの見立て その時に多軸的に考えてみる事 少なくとも、2つ以上の軸を考える事が必要

心理学的二つの見方

- 表と裏
- 生と死
- ・ 彼岸と此岸
- ・ 意識と無意識
- ・イドと超自我
- 男性性と女性性
- 怒りと愛情
- ・ 依存と自立

アンビバレントなものは一つ 二つのものは葛藤しながら一つ

- 両価性の根幹は同じ所から出ている
- 表出するには、裏で支えているものがある
- 「てこずる」事は、創造性を刺激してもらっている事
- 自分の能力の開発を促されている
- それは、関係を作りたいという想いから出ていると考えられる

「てこずり行動」で相手が求めている ものとは

- 人は誰でも、いくつになっても愛されたいと思う
- 自分の存在を認めてもらいたいと思う
- 関心を払ってもらうための一番の方法を考えてみる
- 自閉症スペクトラムは相手がイライラしたりすることをしてしまう
- 安心を手に入れ、自分というものを確認する ため

人間性心理学の考え方

その特徴

- 1. 人間性を部分的、要素的に捉えるのではなく、全体的に理解する
- 2. 人間性には、自己実現する潜在能力がある
- 3. 人間の独自性、主体性を重んじる
- 4. 健康的、積極的な人間性の成長に焦点を当てる

マズローの欲求階層論

- 1. 生理的欲求:生きていくための基本的欲求
- 2. 安全欲求:基本的欲求が満たされると安全や安定を求める欲求
- 3. 社会的欲求:生理的欲求と安定的状況が整うと親や仲間からの所属感や愛情を求める欲求
- 4. 尊厳的欲求:親からの愛情や仲間からの友情が満たされると次に自分を認めてほしい、評価してほしいと欲求し、自尊感情を満たすようになる

「てこずり行動」の本質的意味

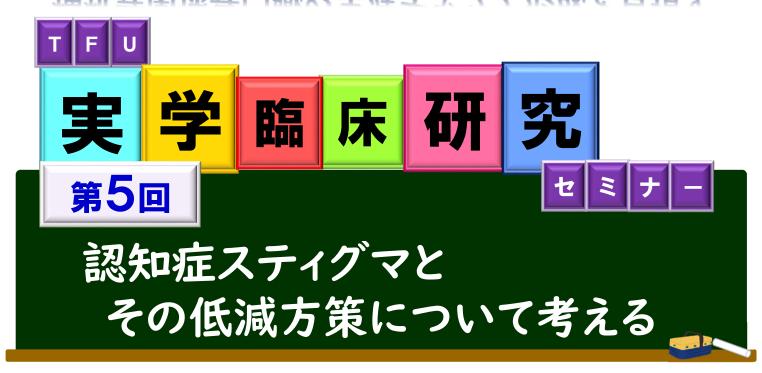
- 「人間の個別性」 人間が一人ひとり固有の存在である事を認めていくことを教えてくれていないか 同じ人間は一人としていないという本質を伝えていないか
- ・「関わる人間も人間」 完全な対象化はおこらない
- •自然科学では解明できないのが人間
- ・論理性・客観性・普遍性が通用しない世界に触れている事を認識する事

ご静聴ありがとうございました

一人ひとりの幸せと、生活の質の 向上のために

【資料①】

福祉等関係専門職の生涯キャリア形成を目指す



- ◆日時 2022 年 1 月 27 日 (木) 18 時 30 分 ~ 20 時
- ◆場所 Zoom オンライン (Zoom 情報後日送付)
- ◆ プログラム
 - ◎ 講演テーマ:認知症スティグマとその低減方策について考える

講師:石附 敬氏(東北福祉大学総合福祉部 社会福祉学科 准教授)

コーディネータ:※調整中

- ◎ 情報提供:60分 / 意見交換:30分
- ◆ 参加方法 無料 Web 申し込み

◆ 第5回 セミナー趣旨

スティグマは認知症の人とその家族が認知症の症状を認識することを妨げ、さらに必要な治療とサポートへつながることを妨げます(世界アルツハイマー報告書、2012)。本セミナーでは、認知症のスティグマを福祉の実践現場や全ての人に関わる身近な問題ととらえ、その低減に向けて何ができるのか考えてみたいと思います。

◆ 講師プロフィール 石附 敬(いしづき・たかし)

本学社会福祉学科卒業、米国バージニア・コモンウェルス大学大学院修士課程、首都大学東京大学院博士課程修了。博士(社会福祉学)、老年学修士。特別養護老人ホームや養護老人ホームで生活相談員、国立長寿医療センター研究所流動研究員などを経て、2013 年から本学教員として勤務。重度要介護高齢者の在宅生活の継続要因と効果的なサービスの利用方法、認知症のスティグマ低減要因などの研究、フィンランドの大学との高齢者の在宅サービスに関する共同教育プロジェクトなどに携わってきた。

主な著書等:『認知症の早期発見・初期集中支援に向けたラーニング・プログラム』(共著)中央法規 2017 年、『高齢者福祉』(共著)中央法規 2021 年、「地域包括ケアにおける重度要介護高齢者の支援」『老年社会科学』2018 年、「認知症スティグマの低減に資する要因群の探索: 大学生を対象にした試行調査を基に」『東北福祉大学研究紀要』2017 年など。

※裏面もご覧ください

◆ 企画・運営:TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会

TFU実 学臨床研究

第6回セミナー 予定

まちで育つ

~地域療育システムの開発と評価、そして実践 ~

日時 2022年2月17日(木)18時30分~20時

場所 Zoom オンライン

講師 三浦 剛 氏 (東北福祉大学総合福祉学部 教授)

◆ これから(2022 年3月まで)のスケジュール

※テーマは変更される場合もございます

回	月	テーマ / 講師	
1	終了	実践現場で「学び続けること」の意義 ~実践の質を高め、問題解決力を身につけるためにできること~	
2	終了	施設における虐待防止を考える 〜より良い支援を育むみんなの課題〜	
3	終了	利用者中心の小規模施設ケア 〜より良いケアと経営の狭間で導入と運営を考える〜	
4	12/17 (今回)	福祉施設利用者の心理と行動 ~「てこずり行動」への理解・対応 ~ 渡部 純夫 氏 (東北福祉大学総合福祉学部 教授)	
5	2022年 1/27 (次回)	認知症スティグマとその低減方策について考える 石附 敬 氏 (東北福祉大学総合福祉学部 准教授)	
6	2/17	まちで育つ 〜地域療育システムの開発と評価、そして実践 〜 三浦 剛 氏(東北福祉大学総合福祉学部 教授)	
7	3/3	障がい者の社 会参 加と地域生活 阿部 一彦 氏 (東北福祉大学総合福祉学部 教授)	
8	4月	触法障害者の『入口支援』を巡る課題を考える 田中 尚 氏 (東北福祉大学総合福祉学部 教授)	

◆【月例】TFU 実学臨床研究セミナー開設の趣旨

こんにち家族や地域社会が変化し多様化する中で、人々の幸せやより豊かな生活を願い、複雑化する支援 ニーズに向き合う対人援助の専門職の皆さんは、絶えず新しい知識を身に付け、成長し、新しく生じる問題に 対応する力量を身に付けることが求められています。

「行学一如」を建学の精神とする東北福祉大学(TFU)は、実践の質を継続して高め、問題解決力を身につけるための学びの機会を提供する取組み、月例「実学臨床研究セミナー」を開催することにいたしました。 福祉現場など実践の場のイマを見つめ、これから求められる対人専門職人財の育成や成長、キャリア形成を考える機会になれば幸いです。

【企画・お問い合せ】

X

東北福祉大学 TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会

Tel 022-717-3359 Fax 022-301-1293 E-mail kenkyu-seminar@tfu-mail.tfu.ac.jp ※TEL 及びFAX は同事務局を担う実学臨床教育推進室につながります(平日 8:30~17:30 のみ 土日・祝日不在)

東北福祉大学大学院





12月18日(土) (事前予約制)

10:30~12:00 受付開始(9:30~)

- ●総合福祉学研究科 社会福祉学専攻(通学・通信) 福祉心理学専攻(通信のみ)
- ●教育学研究科 教育学専攻
- ●場所 本学仙台駅東ロキャンパス 4階 仙台市宮城野区榴岡 2-5-26 TEL:022-766-8833 (JR仙台駅徒歩 3 分、地下鉄東西線宮城野通駅徒歩 3 分)

アクセスマップ https://www.tfu.ac.jp/access/higashiguchicampus.html

- ●対象 本学大学院への進学に関心のある方。 <u>学部生の方</u>も、<u>社会人の方</u>も、ご参加を歓迎しております。
- ●内容・総合福祉学研究科社会福祉学専攻、福祉心理学専攻/教育学研究科教育学専攻について・在学大学院生との語らい・質疑応答 ※終了後、希望により、個別相談に応じます。
- ●予約方法 メールでご予約下さい。graduate@tfu-mail.tfu.ac.jp (12 月 13 日締切) お名前、連絡先、ご希望の専攻、通信・通学のどちらを検討しているかをお知らせください。

大学院入試日程

課程	出願期間	選考日		
通学制 [博士課程](総合福祉学研究科社会福祉学専攻)				
一般選抜·社会人選抜	2022年1月11日(火)~2月2日(水)	2022年2月12日(土)		
通学制 【修士課程】(総合福祉学研究科社会福祉学専攻·福祉心理学専攻·教育学研究科教育学専攻)				
一般選抜Ⅱ期	2022年1月11日(火)~2月2日(水)	2022年2月12日(土)		
通信制 【修士課程】(総合福祉学研究科社会福祉学専攻·福祉心理学専攻)				
Ⅱ期	2022年1月11日(火)~2月10日(木)	2022年2月26日(土)		

お問い合わせ先 東北福祉大学 大学院事務室

TEL: 022-727-2288

TFU実学臨床研究セミナー実行委員会名簿

2021年8月

連番	お名前	所属等
	学外委員	
1	中里仁様	社会福祉法人東北福祉会・せんだんの杜
2	野田毅様	社会福祉法人東北福祉会・本部事務局/せんだんの館
3	舟越正博様	社会福祉法人東北福祉会・せんだんの里
4	土井勝幸様	医療法人社団東北福祉会・せんだんの丘
5	加藤誠様	医療法人社団東北福祉会・せんだんの丘
6	大橋雅啓様	東日本国際大学/全国・宮城県・福島県精神保健福祉士協会
7	菊地知憲様	総合南東北病院/宮城県医療ソーシャルワーカー協会
8	小林紀代様	多賀城市保健福祉部子育て支援課/宮城県社会福祉士会
	学内委員	
10	(委員長)阿部一彦	東北福祉大学総合福祉学部
11	阿部利江	東北福祉大学総合福祉学部
12	石附敬	東北福祉大学総合福祉学部
13	大島巌	東北福祉大学総合福祉学部
14	佐藤俊人	東北福祉大学総合福祉学部
15	清水冬樹	東北福祉大学総合福祉学部
16	高橋誠一	東北福祉大学総合マネジメント学部
17	竹之内章代	東北福祉大学総合福祉学部
18	田中尚	東北福祉大学総合福祉学部
19	芳賀恭司	東北福祉大学総合福祉学部
20	三浦剛	東北福祉大学総合福祉学部
21	吉田孝	東北福祉大学教務部教務課
22	菅野陽子	東北福祉大学通信教育事務部
23	事務局	東北福祉大学実学臨床教育推進室
24	広報担当	東北福祉大学総務部PR課

第4回 TFU 実学臨床研究セミナー 資料集

福祉施設利用者の心理と行動

~「てこずり行動」への理解・対応~

発行日 2021 年 12 月 17 日

主催 TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会

編集・発行 TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会事務局

電話: 022-717-3359 Fax: 022-301-1293 E-mail kenkyu-seminar@tfu-mail.tfu.ac.jp